

# U-bootからのC9120/C9115アクセスポイントの修復

## 内容

---

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[回復手順 – 概要](#)

[手順の詳細](#)

[特別イメージBundle-Axel-SS-8\\_10\\_130.0.imgをダウンロード](#)

[特殊イメージのTFTPサーバへのコピー](#)

[コンソールでのU-bootの開始](#)

[APフラッシュへの特別なイメージのダウンロード](#)

[付録A:WindowsでのTftpd64の設定](#)

[PCのアドレスを10.1.1.1に設定する](#)

[Tftpd64のダウンロード](#)

[特殊イメージのTFTPベースフォルダへのコピー](#)

[付録B:MobaXterm経由でのAPコンソールへの接続](#)

[付録C : トポロジの例](#)

[オプション1 – 複数のAP、PoEスイッチ、ターミナルサーバ](#)

[オプション2 – 複数のAP、PoEスイッチ、および複数のUSB-to-RS232アダプタを備えたUSBハブ](#)

[オプション3 – 単一AP、PoEインジェクタ](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、通常のオペレーティングシステムではなく、U-bootプロンプトでブートするCatalyst 9115/91120アクセスポイントの回復手順について説明します。

## 背景説明

2021年10月20日から10月27日の間に、シスコは不適切なイメージのC9115およびC9120アクセスポイントを多数製造しました。これらのユニットでは、ブートアップ中に「修正不可能なECCエラー」メッセージがコンソールに記録され、正常にブートできません。これらを回復するには、各APにコンソール接続し、TFTPを介して特別なイメージをロードする必要があります。

この問題は[Field Notice:FN72278 : 一部のC9120およびC9115 APが「修正不可能なECCエラー」が表示され、ブートアップ状態になる可能性 – 回避策の提供](#)とCisco Bug ID [CSCwa12652](#)に記述されています。

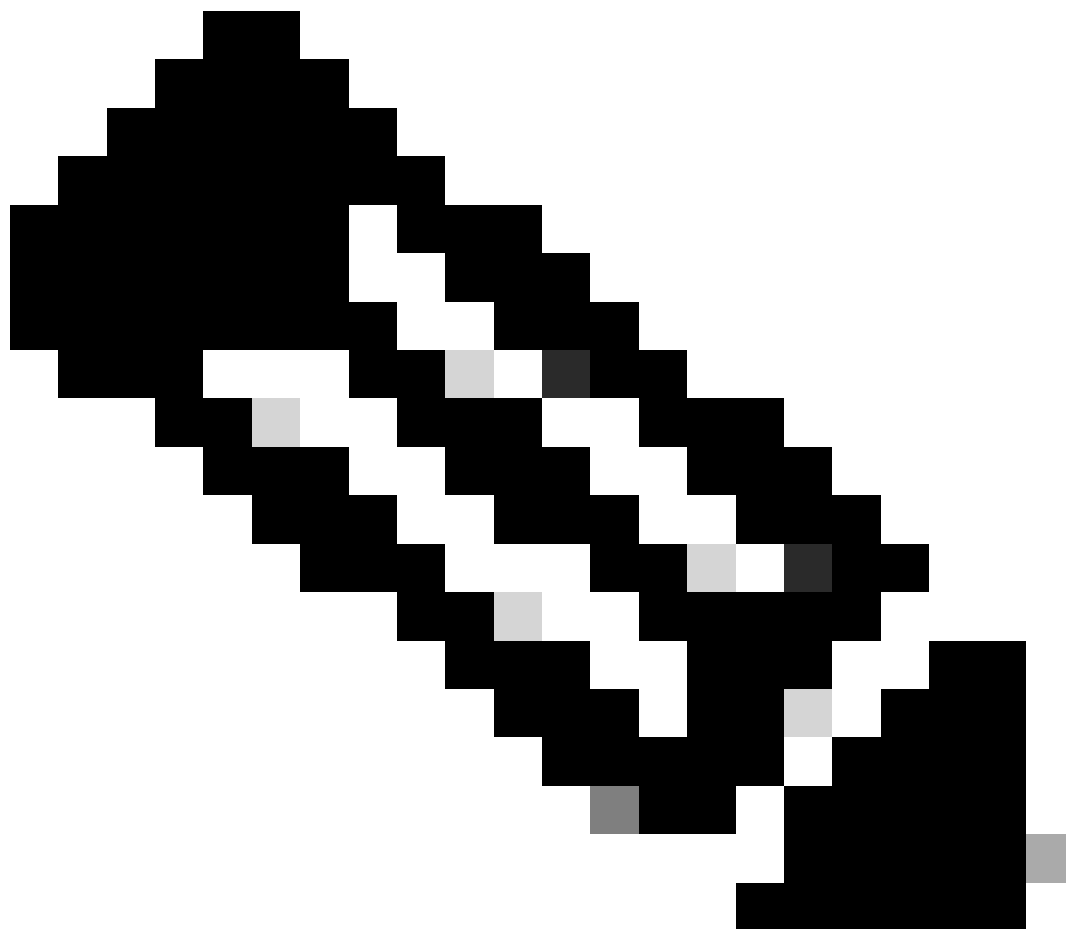
## 回復手順 – 概要

1. 特殊イメージ bundle-axel-SS-8\_10\_130\_0.img をダウンロードします。
2. イメージを TFTP サーバー上に配置します。
3. 影響を受けるAPにコンソール接続します。
4. u-bootモードに切り替えます。
5. u-bootモードを使用して、TFTP経由でAPにイメージをコピーします。

## 手順の詳細

### 特別イメージBundle-Axel-SS-8\_10\_130.0.imgをダウンロード

1. 非表示の投稿  
<https://software.cisco.com/download/specialrelease/aa90a6d87be2275f1f0111c4973295c2>を参照します。
2. Catalyst 9115AX/9120AXアクセスポイント製造イメージbundle-axel-SS-8\_10\_130\_0.imgをダウンロードします。



注：これらのイメージは、ブート不可能なAPの回復にのみ使用します。

## 特殊イメージのTFTPサーバへのコピー

APのLANポート（「2.5G」のラベル付き）にケーブル接続されたネットワークでTFTPサーバを設定します。

WindowsでTftpd64サーバをセットアップする方法の例については、「[付録A](#)」を参照してください。

## コンソールでのU-bootの開始

1. シリアルケーブルをAPのコンソールポートに接続します（これは「2.5G」というラベルのない薄い青色のラベルです）。シリアルポートは9600 bps、8データビット、1ストップビット、パリティなし、フロー制御なしに設定できます。  
MobaXtermを使用してシリアルポートに接続する例については、「[付録B](#)」を参照してください。
2. APに電源を投入します。

APの電源がオンになったら、ターミナルウィンドウでEscキーを繰り返し入力し、u-bootプロンプトが表示されるまで続けます。

```
Verify that the firmware has been loaded with good CRC: OK
Firmware loading completed successfully
bcm4908_eth-0
MAC: 70:69:5a:76:40:3c

Hit ESC key to stop autoboot:
u-boot>
```

## APフラッシュへの特別なイメージのダウンロード

IP経由でTFTPサーバにアクセスするようにu-bootを設定します。端末を介して手動で入力されたテキストは太字で示されています。

1. TFTPサーバのサブネットで未使用のIPアドレスを使用してAPを設定します。

```
<#root>
```

```
u-boot>
```

```
setenv ipaddr 10.1.1.101
```

2. APのネットマスクを設定します。

```
<#root>
```

```
u-boot>
```

```
setenv netmask 255.255.255.0
```

3. TFTPサーバのIPアドレスを設定します。

```
<#root>
```

```
u-boot>
```

```
setenv serverip 10.1.1.1
```

4. デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。TFTPサーバがAPと同じサブネットにある場合は、ここでTFTPサーバのアドレスを入力できます。

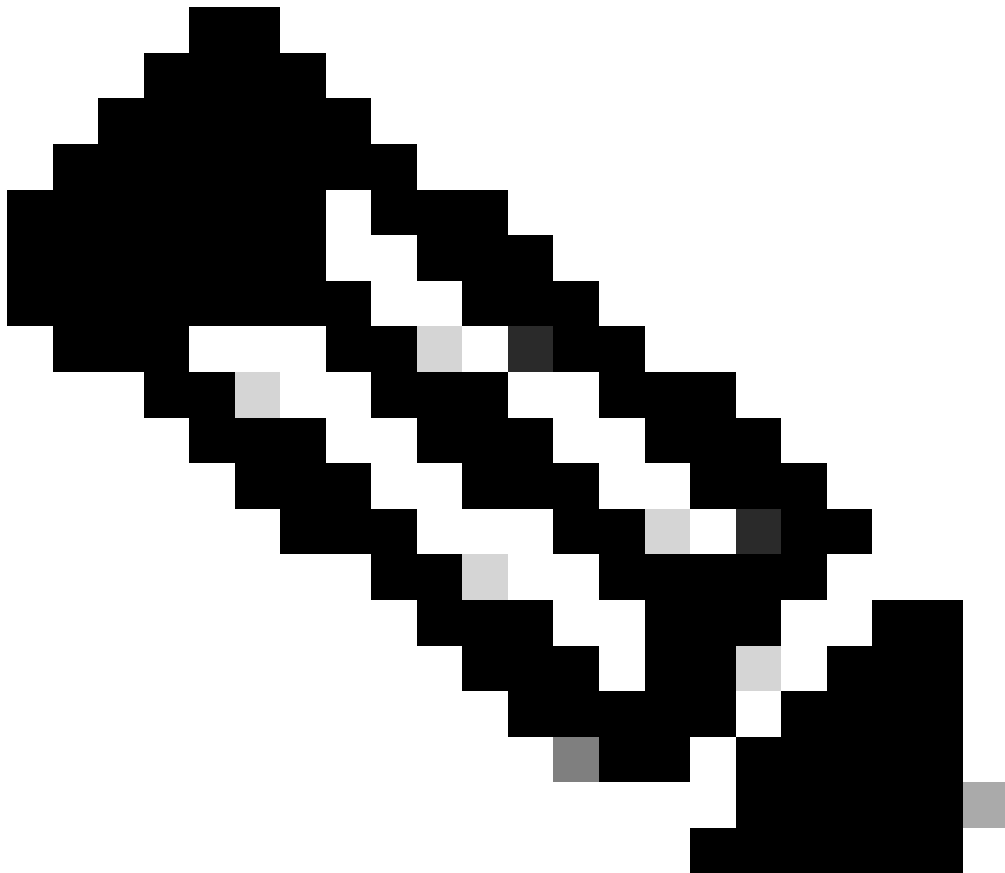
```
<#root>
```

```
u-boot>
```

```
setenv gatewayip 10.1.1.1
```

5. ターゲットのTFTPディレクトリをクリアし、設定を保存します。

---



注：現在の設定を確認するには、printenvコマンドを使用できます。

---

```
<#root>
```

```
u-boot>
```

```
setenv tftpdir
```

```
u-boot>
```

```
saveenv
```

```
Saving Environment to SPI Flash...
```

```
Erasing at 0x0 -- 100% complete.
```

```
SF: Detected mx2516405d with page size 256 Bytes, erase size 4 KiB, total 8 MiB
```

```
Erasing SPI flash...Writing to SPI flash...done
```

1. TFTPサーバにpingを実行して、到達可能であることを確認します。

```
<#root>
```

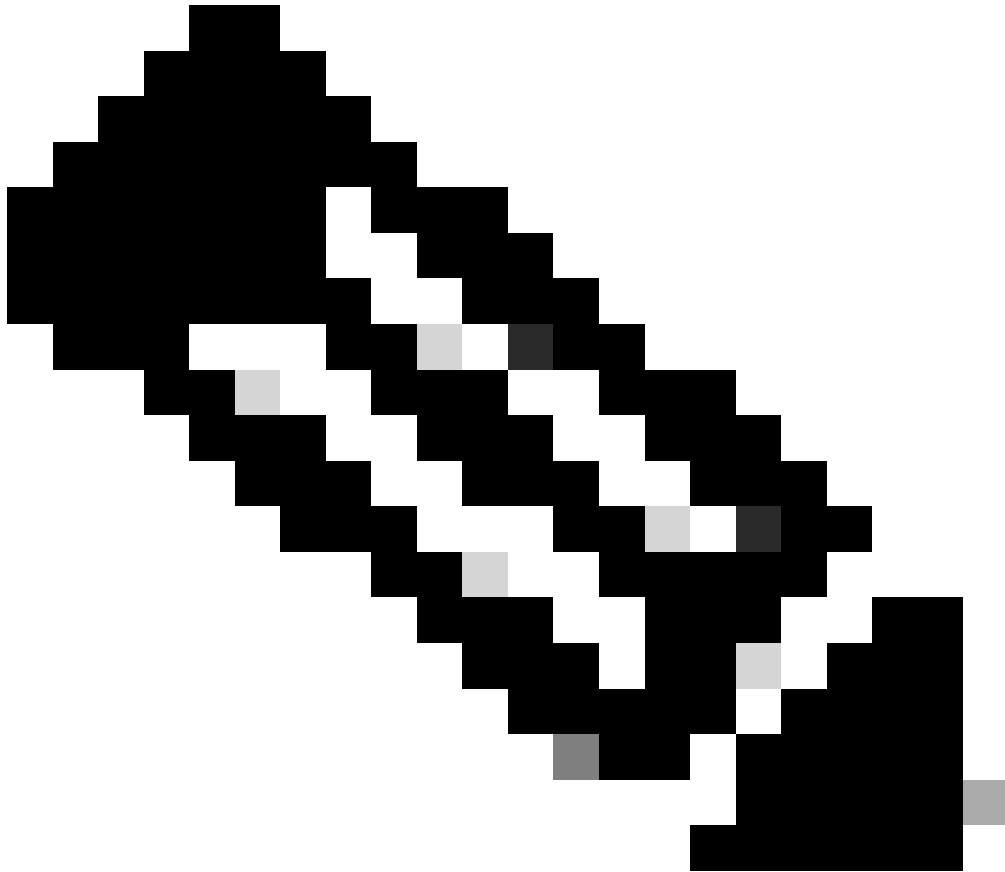
```
u-boot>
```

```
ping 10.1.1.1
```

```
Use bcm4908_eth-0 device
```

```
host 10.1.1.1 is alive
```

2. イメージをAPフラッシュにダウンロードし、次の例のようなプロンプトに応答します (インタラクティブなプロンプトは、イメージがロードされた後に表示できます)。



注：このステップの間は、APの電源をオフ/オンしないでください。

---

```
<#root>
```

```
u-boot>
```

```
boardinit bundle-axel-ss-8_10_130_0.img
```

```
// Some output here was removed in order to emphasize the interactive prompts. Full outputs are sh
```

```
Program PHY firmware? [y/N]:
```

```
y
```

```
Program UBIFS image? [y/N]:
```

```
y
```

```
Program bootloaders? [y/N]:
```

```
n //pay attention: the last option must be "n"
```

3. APをリブートし、resetコマンドを使用します。再起動が完了したら、Enterキーを押して「Username:」プロンプトを表示する必要があります。

```
<#root>
```

```
u-boot>
```

```
reset
```

点滅の出力例：

```
<#root>
```

```
u-boot>
```

```
boardinit bundle-axe1-SS-8_10_130_0.img
```

```
Download image bundle-axe1-SS-8_10_130_0.img...
```

```
Use bcm4908_eth-0 device
```

```
TFTP from server 10.1.1.1; our IP address is 10.1.1.104
```

```
Filename 'bundle-axe1-SS-8_10_130_0.img'.
```

```
Load address: 0x501144b0
```

```
Loading: #####
```

```
// Note: The # symbols can continue to print until the image is fully transfered, this can take a
```

```
done
```

```
Bytes transferred = 147999664 (8d24bb0 hex)
```

```
Program PHY firmware? [y/N]:
```

```
y
```

```
Writing PHY firmware to NOR flash...
```

```
>>> Backup current PHY firmware image @300000:45000...[Success]
```

```
>>> Erase flash blocks .....[Success]
```

```
>>> Write PHY firmware image ...[Success]
```

```
[Success]
```

```
Program UBIFS image? [y/N]:
```

```
y
```

```
Writing UBIFS to NAND...
```

```
NAND erase.part: device 0 offset 0x6c0000, size 0x3f940000
```

```
Skipping bad block at 0x00e00000 .....
```

```
Erasing at 0x3ffc0000 -- 100% complete.
```

```
OK
```

```
NAND write: device 0 offset 0x6c0000, size 0x8c80000
```

```
Skip bad block 0x00e00000
```

```
147324928 bytes written: OK
```

```
[Success]
```

```
Program bootloaders? [y/N]:
```

```
n //pay attention: the last option must be "n"
```

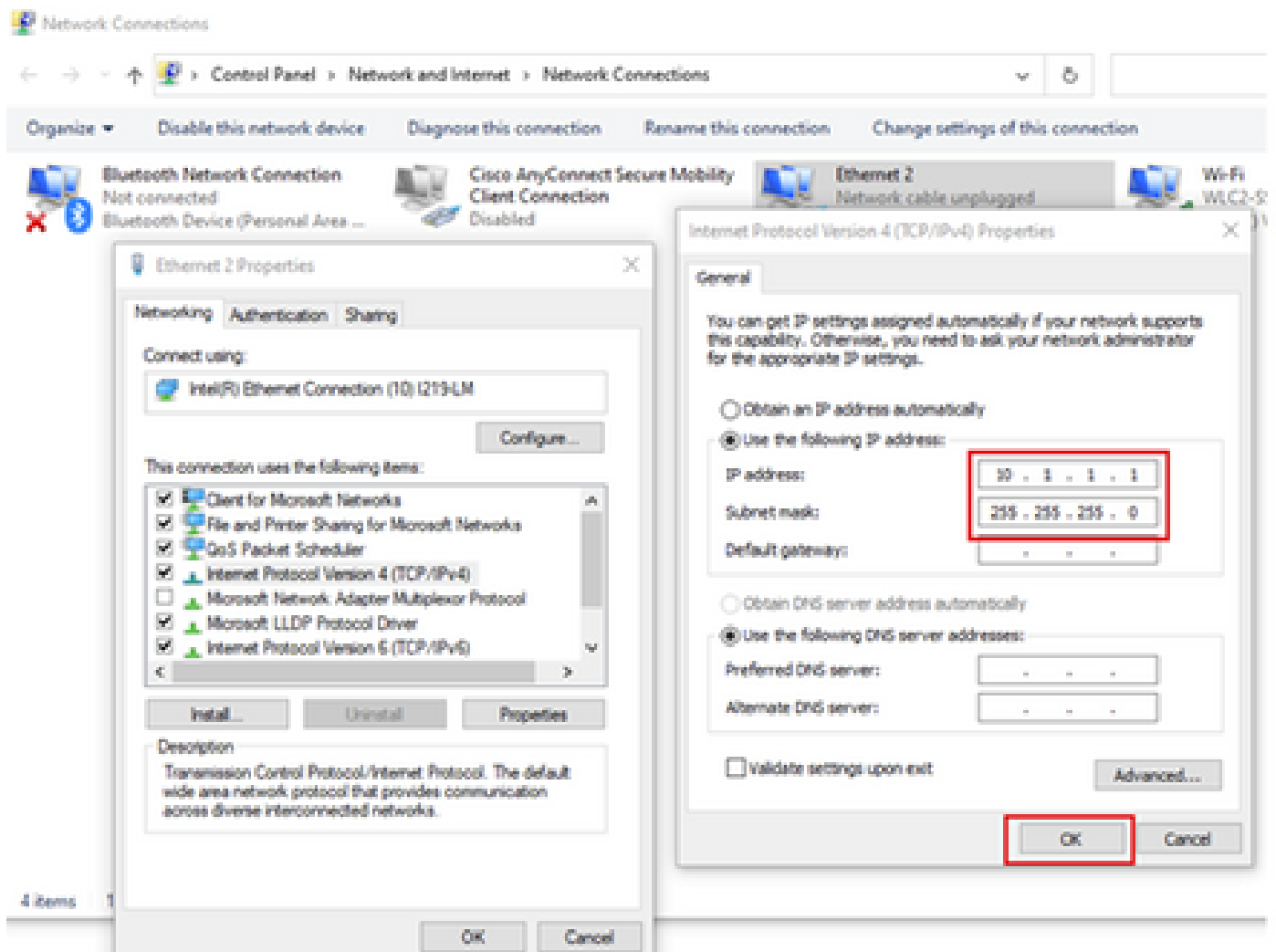
```
u-boot>
u-boot>

reset
```

## 付録A:WindowsでのTftpd64の設定

この例では、Windows PCがアドレス10.1.1.1で手動で設定され、Tftpd64が特別なイメージを提供するように設定されています。

### PCのアドレスを10.1.1.1に設定する



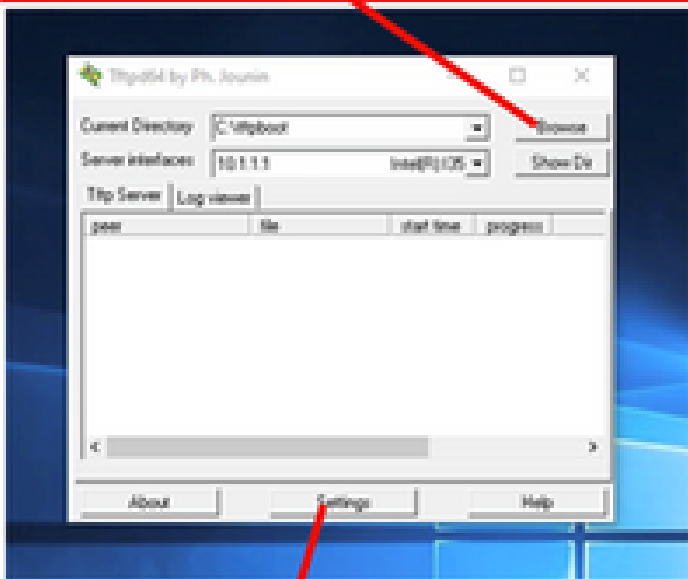
### Tftpd64のダウンロード

[TFTPD64ソフトウェア](#)

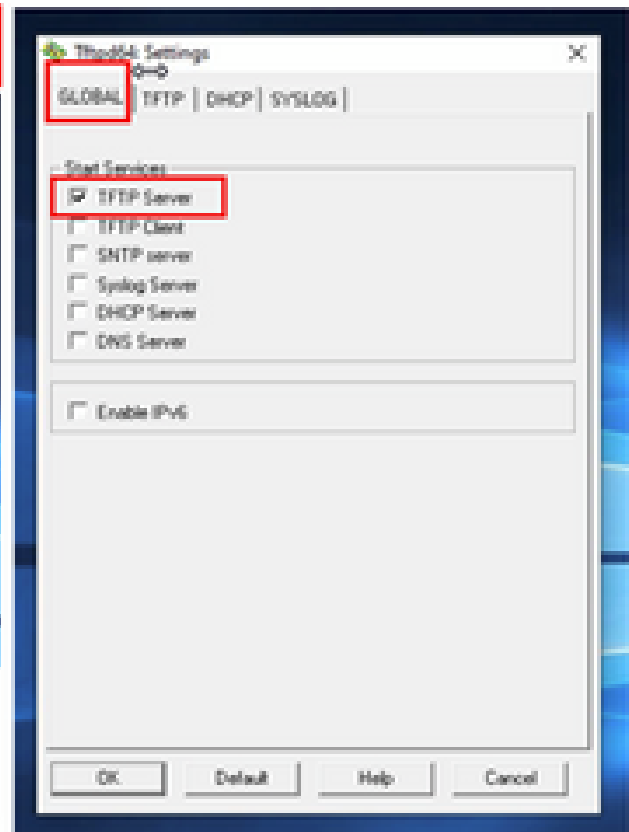
特殊イメージのTFTPベースフォルダへのコピー

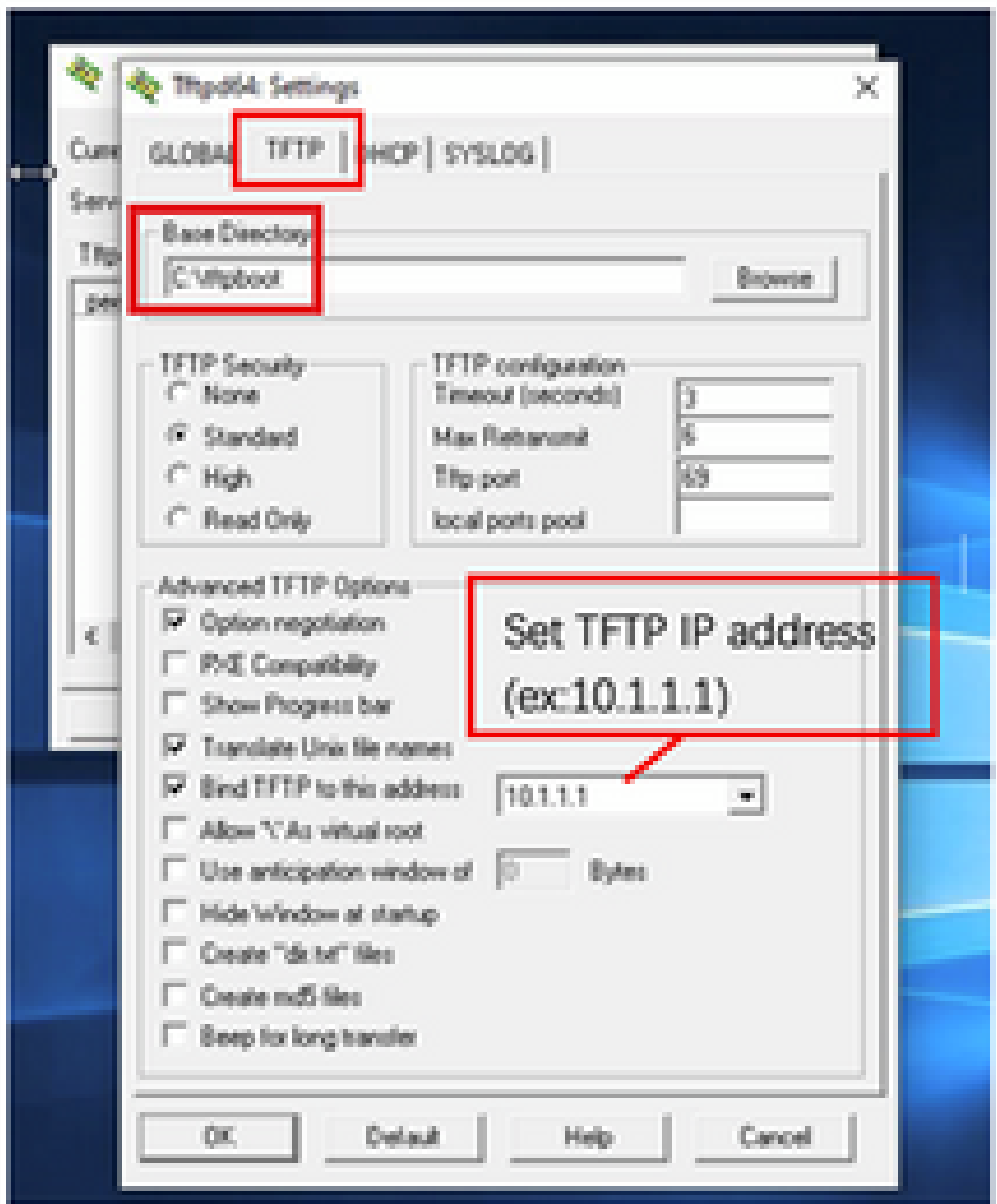


Select the folder where the AP images storing



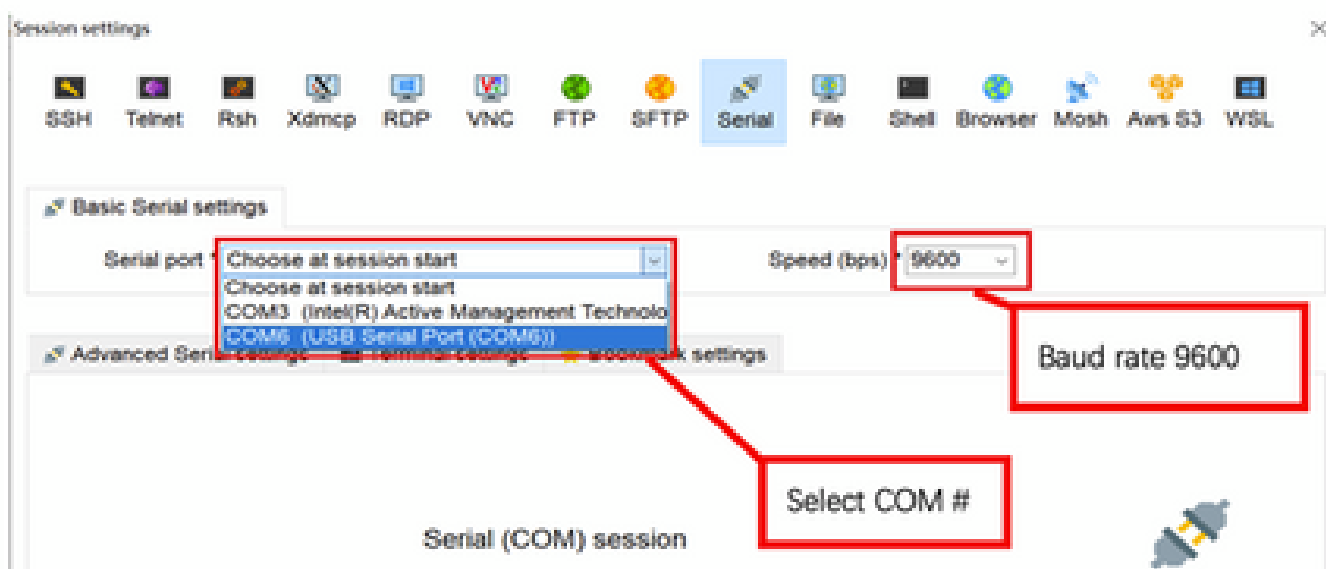
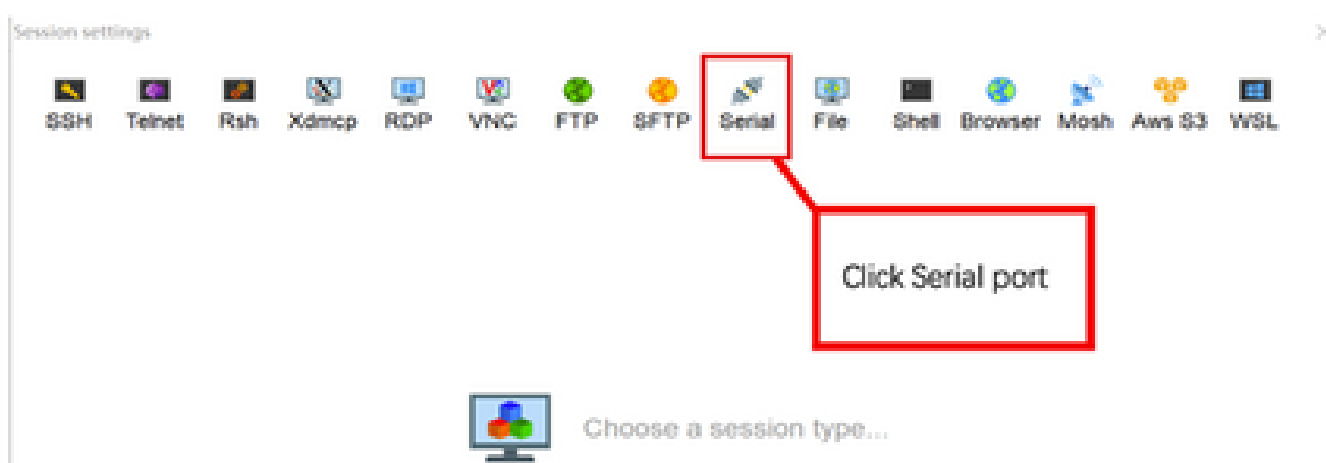
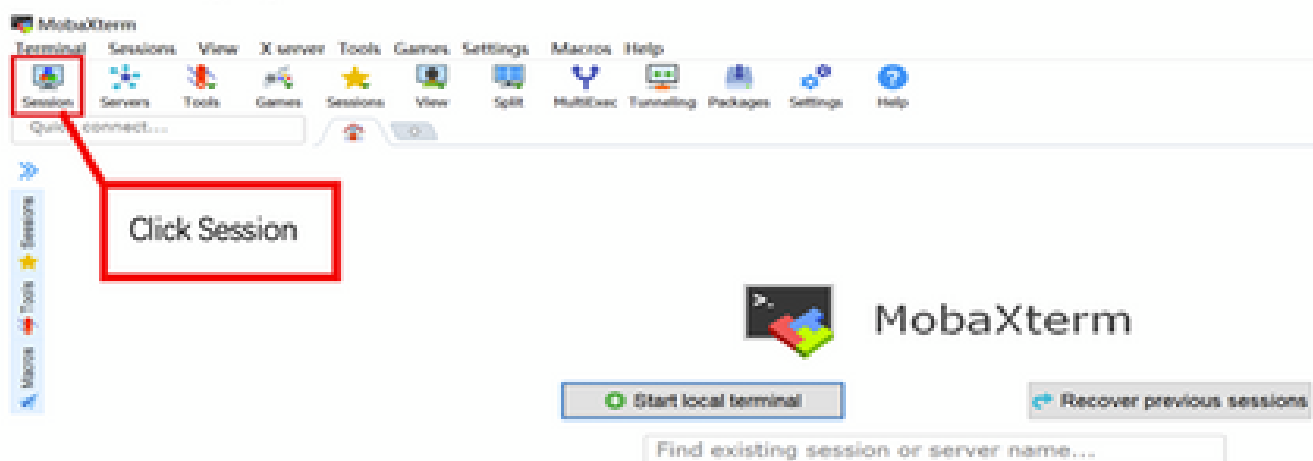
Click the setting to setup the server ip address, please follow next page with details





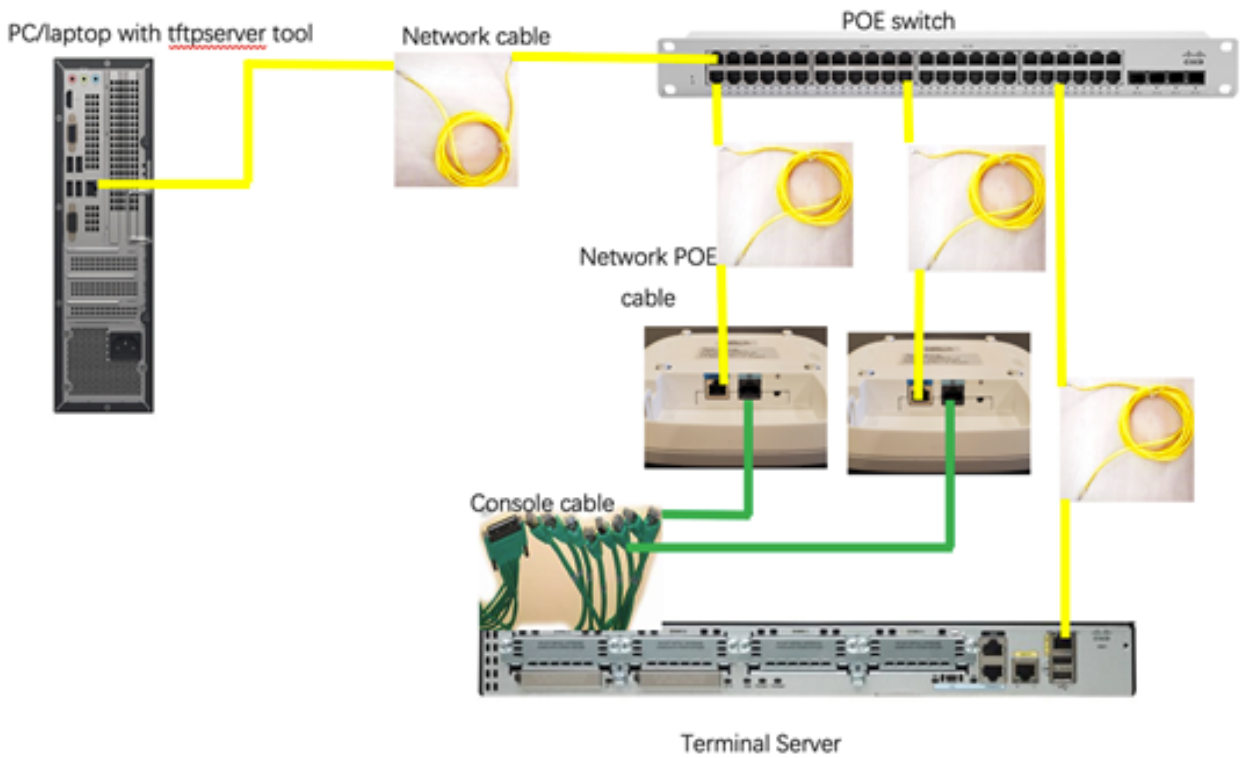
bundle-axel-SS-8\_10\_130\_0.imgファイルをTFTPのベースディレクトリ(たとえば、C:\tftpboot)にコピーします。

付録B:MobaXterm経由でのAPコンソールへの接続

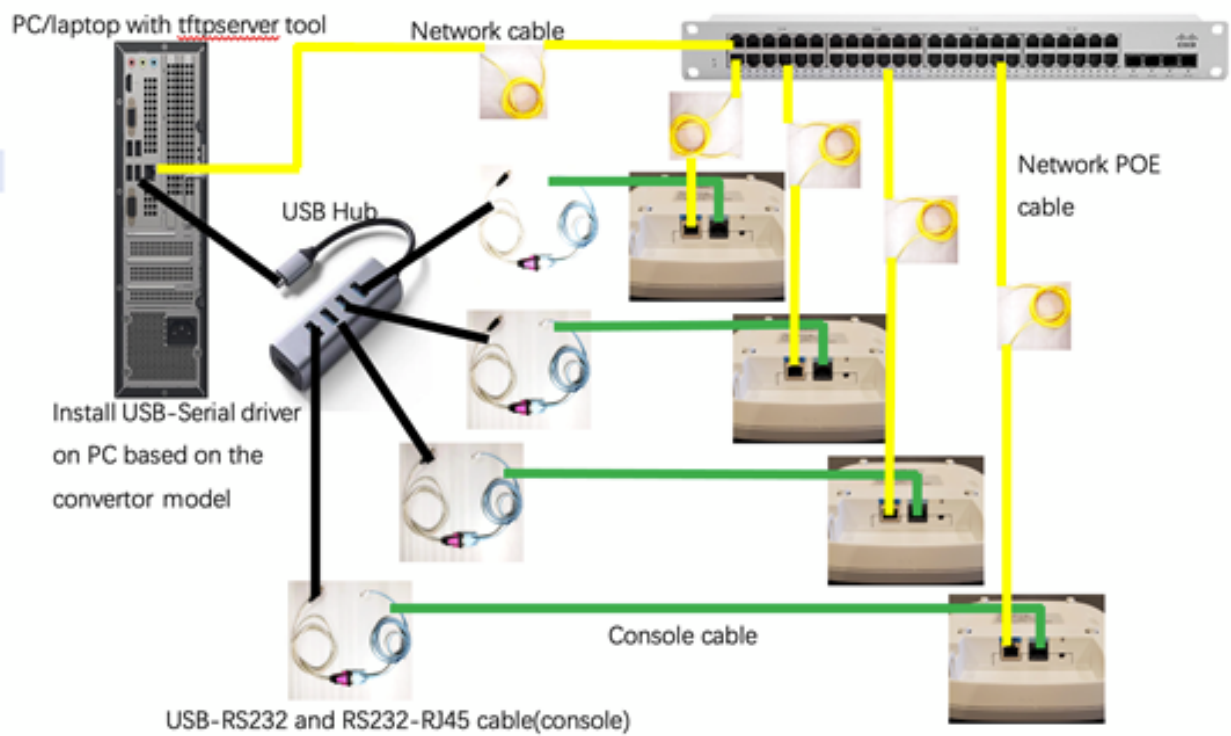


## 付録C：トポロジの例

オプション1 – 複数のAP、PoEスイッチ、ターミナルサーバ



オプション2 – 複数のAP、PoEスイッチ、および複数のUSB-to-RS232アダプタを備えたUSBハブ



オプション3 – 単一AP、PoEインジェクタ

PC/laptop with tftpserver tool

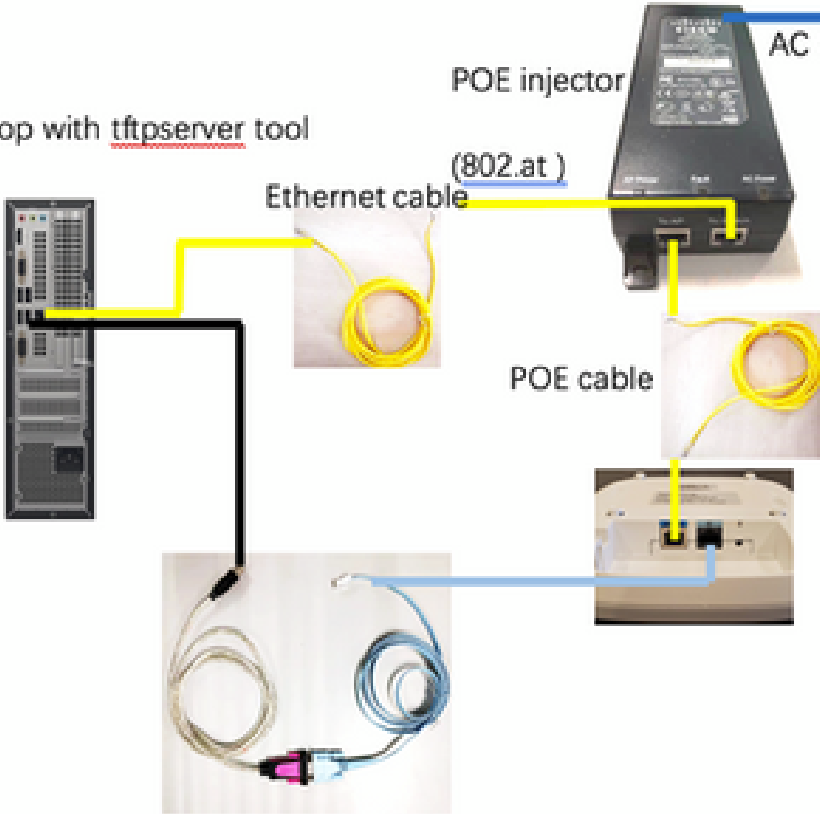
POE injector

AC Cord to power

(802.at )

Ethernet cable

POE cable



## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。